

て年間 14 回を設定することとした。この数字の設定に当たって、通常の活動であれば、体調不良や急用など何回かの欠席があっても十分クリアできる数字とし、大きな負担にならないように配慮した。

今後の計画及び課題

1. ボランティアは平成 17 年 12 月には、合計約 60 名となっているが、温室担当のガイドボランティア

人数が減少しているので、新規募集を計画する。

2. 研修や懇親の機会を充実し、活動への意欲やボランティアとしてのマナーを向上させることが必要と思われる。

平成 17 年隠里溜池南側広場 (子ども花壇) 管理記録

磯部実・梶川修・高東朗・門村逸喜

はじめに

この広場花壇には、前号でも記述したように本年 2 月からパンジーを植栽展示し、引き続いて夏にはヒマワリ、秋にはコスモスを植栽展示したので、その結果を記録する。

パンジー

植栽区域 100 m² 当たりワラ堆肥 120 袋 (20 l 入り)、FT 化成 4kg、カルエース 2kg を混入・耕耘した。前号で記録したように昨年の秋に播種した 24 品種のパンジーを 2 月 21 日～2 月 24 日まで、花壇に約 7,000 株 (カスケードなど周辺花壇も含む) 植栽した (栽培記録 26 号参照)。

4 月 14 日に、追肥としてペレックスを 100 m² 当たり約 4kg 散布し、4 月 19 日には中耕をかねて除草を行った。病害虫は特に問題になるものは発生しなかった。

3 月下旬より開花数が徐々に増し、4 月中旬からゴールドデンウィークには見ごろを向かえた (写真 1)。その後、まだパンジーの開花は続いたが、後に植栽展示するヒマワリの植え付け準備のため、5 月



写真 1. パンジー花壇

19 日、21 日に抜き取った。

ヒマワリ

パンジーを撤去した後、植栽区域 100 m² 当たりペレックス 15kg、カルエース 15kg を混入・耕耘し、畝はフラワーネット (一柵 20cm の 5 列) 用に約 1m とした。播種・植栽したヒマワリの品種は (株) サカタのタネより導入した高性分枝系の「ソラヤ」とわい性分枝系「マンチキン」の 2 品種である (表 1)。

5 月 7 日、8 日に春の植物公園祭りのイベントの一環として、入園者にヒマワリの種まき体験を実施し、約 100 人の参加者に 7.5 cm ビニールポット約 2,000 ポットに「ソラヤ」の種子を播種してもらい、苗を育て、植物公園でも、追加・補植用に約 1,000 ポットの苗を播種・育苗した。ヒマワリ「マンチキン」の種子は 5 月 18 日に同サイズのビニールポットに播種・育苗した。

ソラヤの苗は 6 月 1 日、4 日にフラワーネットを張りながら、40cm 間隔にちどり状に約 2,500 株定植した。定植時にヨトウムシ防除用にアディオソル剤の土壌灌注又はオルトラン粒剤を土壌混入した。定植後にヨトウムシの被害があったので、補殺後欠損株は約 200 株程度順次補植した。マンチキンは 6 月 9 日に株間 30cm で約 300 株定植した。

本年は定植後晴天が続いたので、灌水に注意を要した。株の倒伏を防ぐため、ネットの上昇は 6 月



写真 2. ヒマワリ花壇

表 1. 植え付けたヒマワリの品種と生育状況

品種	播種日(月/日)	定植日	条間×株間(cm)	開花期間(月/日)	草丈(c m)
F1ソラヤ	5/7~8	6/1、4	40×40	7/14~8/23	150
F1 マンチキン	5/18	6/9	30×30	7/14~8/23	50

表 2. 植え付けたコスモスの品種と生育状況

品 種	播種日	条間×株間(c m)	開花期間	草丈(c m)
センセーション混合	8/30、31	15×15	10月中旬~11月下旬	120

中旬、6月下旬、7月下旬に行った。7月上旬に黒斑病とダニが多く発生したので、病斑葉は除去し、ニッソランV乳剤とダコニール1000乳剤の混合剤を散布し、蔓延を防ぐことが出来たが、株下側の葉が無くなり草姿が悪くなった。また生育期間中は除草作業に多くの労力を必要とした。

開花は両品種とも7月中旬から始まり、マンチキンは7月下旬、ソラヤは8月上旬に満開になり(写真2)、開花終了したものから順次花がらをとり、8月下旬まで植栽・展示し、8月23日に抜き取った。

コスモス

ヒマワリを除去した後、植栽区域100㎡当たりペレックス15kg、カルエース15kgを混入・耕耘した。約1m幅の畝を作り、シードテープ(15cm間隔1粒)でコスモス種子を直播した。播種したコスモスの品種は(株)ミヨシの「センセーション・ミックス」である(表2)。播種後大雨があったので発芽不良、または発芽後害虫被害(特にヨトウムシによる食害)により枯死したものは、順次種子の直播またはプラグ苗(約500本)により補植した。

9月は晴天が続き、灌水には注意を要し、また雑草が多かったので、株間の中耕を兼ねて数回除草した。9月下旬ヨトウムシ被害が見られた一部の区域にベストガード粒剤を散布し、その後の被害を抑えることができた。さらに10月中旬にうどんこ病が

部分的に発生したので、ポリオキシソル AL水和剤を散布した。

10月下旬には花壇の中の観賞用通路を通りやすくするために、株元に土寄せをするとともに、畝周辺に支柱を立て、麻紐を張り、株の倒伏を防止した。

10月中旬から開花し始め、10月下旬~11月上旬には満開になり、開園記念日の11月3日には見頃を迎えた。(写真3)また、11月5、6日には昨年と同様に秋のグリーンフェアイベントの一環としてコスモスの花摘みを行い、約600人の参加者があり、好評であった。一部11月5日、その他は11月21日・22日に抜き取った。

おわりに

今年は昨年に比べて台風は少なく、倒伏などの被害は少なかったが、暑い年であったため特に灌水に注意を要し、また病害虫の発生が多かったため防除作業に手間取り、苦労した。また昨年と同様、植物公園管理ボランティアには植え付け作業や除草作業などを手伝っていただき、1年間の植栽・展示を無事終了し、感謝する次第である。

参考文献

- 世羅徹夜、永木利夫 2003. ため池南側広場(子供花壇)の管理記録。広島市植物公園栽培記録第24号:28-29
- 高東朗、梶川修 2005. ため池南側広場(子供花壇)の管理記録。広島市植物公園栽培記録第25号:29-30



写真 3. コスモス花壇